



地域医療連携通信

あこ



2013 (平成25年) 3月号 (第77号)

上天草総合病院 理念
信頼される地域医療

基本方針

1. 私達は患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたごころあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療連携室

TEL・FAX : 0969-62-1547(直通)

住所: 866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話: 0969-62-1122(代) FAX: 0969-62-1546

URL: <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>

発行責任者: 地域医療連携室長 福田 誠

第31回 上天草総合病院学会開催

研修委員長

山城 武司

当院では、昭和57年より院内学会を毎年1回開催しております。昭和59年までの抄録はすべて手書きで、すべてワープロ打ちになるのは昭和61年からです。手書きの抄録は、ワープロよりもレベルの高い発表に見えます。発表者の気持ちが伝わるからでしょうか。ちなみに女性の平均年齢が80歳を越えたのが昭和59年、男性が75歳を越えたのが昭和61年だと、坂本院長が第8回に発表した抄録に書かれています。この頃の発表は小児や看護教育に対する演題が多く、その中に「老人問題」(今では高齢者と書くのでしょうか)などが混ざっているという傾向です。今の病棟に建てかわった平成3年に、日本のバブル景気ははじけますが、そのあたりは病院経営に関する発表が見られます。近年の発表は、接遇・サービス面、また退院業務に関する発表が多いようで、時代に合わせて演題も変化している事が感じられます。



さて、今回は2月23日に22演題を集めて開催されました。その中から、投票で選ばれた3つを優秀演題としました。

最優秀演題

継続できる白癬爪のケアを目指して
～安全・安楽な爪切りのためにPart2～

3病棟 ○溝脇留美子

白癬爪にケラチナミン軟膏を塗ってラップ処置をすると綺麗に爪が取れる、という実践的な内容が人気だったようです。

優秀演題

業務におけるストレスとシュミレーション教育の
効果について

4病棟 ○安田小百合

患者や医師と関わる中でのストレスと、その対処が、ナースの共感を得たのでしょうか？

優秀演題

在宅療養のすすめ

上天草訪問看護ステーション ○浦崎美恵子

現場の人間からの、生の事例を通じて在宅のことを語った発表に心を動かされました。

また今回初めて、6分の制限時間内に一番近く発表したひとに、ピタリ賞を送ることになりました。

ピタリ賞

退院支援シート作成

～支援シートの充実した活用に向けて～

5病棟 ○橋本恵里

たとえ院内学会でも、やはり時間厳守は大事だとアンケートで多くありました。5分57秒。

他にも、当院ならではの話題から、全国で通用できそうなレベルの演題まで、多くの発表がなされました。演者、聴衆、係りの方々、お疲れ様でございました。演題を作るのはとても大変ですし、たとえ発表したとしても、聴衆が興味なければ「ふーん」と流されておしまいです。でもよく言われるように、発表することは、自分自身が深く勉強できる良い機会です。なおかつ周囲にもその内容を伝えることのできる効率のよい方法でしょう。来年も、数多くの優秀な発表が出ることを楽しみにしております。

救急蘇生訓練を実施して

本年度も毎年恒例の「救急蘇生訓練」を東天草分署のご協力で2月4日～2月21日まで実施しました。参加者319名、丁寧なご指導を頂き、大変感謝しております。

初日の、新採用枠では、救急蘇生の重要性や方法の講義を受けた上での講習でした。翌日からは、実施中心。1年間に忘れていたことも多く、心臓マッサージの完全な除圧やアンビューの過換気等の注意を受けました。実際に10分間の心臓マッサージの時には、交代するまでの時間が長く感じること!!。眼はかすんでくるわ、胸はドキドキするわ、声はでなくなるわ・・・現実場面はもっと大変だよな・・・と思い頑張りました。新しい形?のAEDなども一緒に学ばせてもらい、短い時間ながら、良い学びができたと思っております。

看護部長 森 こそえ

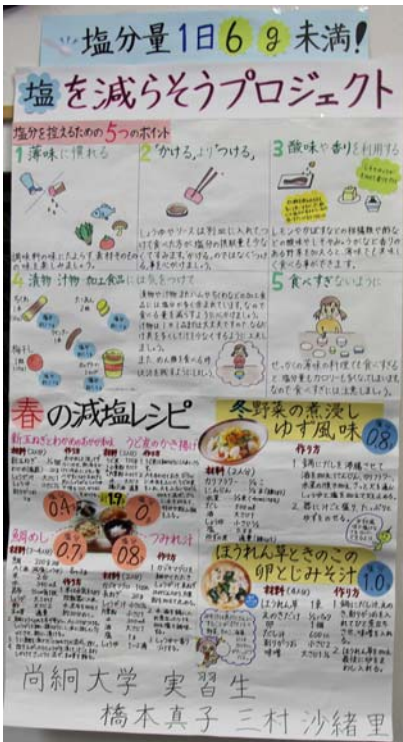


栄養科実習を終えて

尚綱大学実習生 橋本真子・三村沙緒里

実習において個別栄養指導を体験させて頂き、患者さんを知る事がいかに大切かという事を学びました。また、褥瘡や嚥下回診など、チーム医療の現場を初めて目にし、さまざまな患者さんがいらっしゃる中で細かい指導や栄養管理をされている先生方の仕事に対する責任感やプライドが伝わってきました。

実習では患者さんへの栄養指導や嚥下や褥瘡の回診の見学など、とても貴重な体験をさせて頂きました。患者さんに応じた栄養管理を行ない、食事の面からサポートしている先生方の姿を見て大変感銘を受けました。今回の実習で得た知識を今後の糧とし、管理栄養士という夢に向かって努力していきたいと思っております。



実習生さんが作成したポスター

感謝状

生け花ボランティアの方へ

外来に生け花が飾られていたのはご存じでしょうか。

平成22年6月よりボランティアとして、木下智子さんと堀江光香さんに週1回、外来のコーナーと会計窓口の横に花を生けて貰っていました。また、記念式典に飾る花は、多忙な中に時間を作って生けてくださいました。

病院に居ながらにして四季折々の花々を楽しむ事ができ、また、「病院に来たら、生けてある花を見てまわるのが楽しみ!」と来院の皆さまにも大変好評だったのですが、残念ながら今回都合により辞められる事となりました。

2月25日(月)に、これまでのボランティア活動への感謝の意を表して、樋口事業管理者より感謝状と記念品を贈呈しました。

木下さん、堀江さん、
本当にありがとうございました。



接遇研修会に参加して

2月27日(水) 18:00より 第一三共株式会社 磯村哲郎氏を講師にお招きし、TQM委員会主催の接遇研修会を開催しました。参加者も多く、職員の関心の高さが伺えました。

接遇は「ホスピタリティ=おもてなしの心である」、そのためには、あいさつ、顔の表情、話し方、身だしなみなどが大切であるということでした。講演の中で特に印象的だったのは、看護師と患者さんの会話の一場面を例に挙げて、「聞く」と「聴く」は違うものであり傾聴がいかに大切であるか、また言葉かけによって患者さんの治療に対する意欲向上につなげることができる反面、意欲を削ぐ事にもなりかねないということでした。分かっている、忙しいとつい忘れてしまいがちです。

忙しいときほど、「おもてなしの心」を持って患者さんに接しなければと思いました。

地域医療連携室 森口留美



「今後の病院情勢」について 病院経営研修会報告

現在当院では、病棟再編成委員会を設け、10年後、20年後の病院のあり方・運営について、どのような方向性をもって行くべきなのかを検討しています。その中で、専門家による医療情勢や病院経営について話を聞きたいということで研修会を開催することになりました。

平成25年2月13日に「病院の経営環境の現状と将来」と題し、上天草総合病院運営審議会のメンバーであり、経営アドバイザーの近代経営研究所代表取締役の下條寛二先生を講師に迎え病院の経営を考える研修会を実施しました。

お話の中で、現在では年間2000の病院・診療所が倒産している状況がある。地方や過疎地域においては、医師不足や看護師不足が続いている、また地方からの人口流失により人口の減少が起こっている。という現状があるということです。上天草市においては、20年で9000人減少しており、天草市においては、2万人も減少している。このような状況において病院運営は、患者動態を見て方向性を決めていく必要もあるということでした。

また急性期一般病床なのか、長期の療養病床なの

か、また入院基本料を10対1なのか7対1にしていくのか、平均在院日数を短縮すると、病床利用率が下がってくる問題をどのような病床再編で捉えていくのか、いろいろな問題点を示



していただきました。当院がこの地で地域医療を守っていくためにどのような方向性を持っていくのか考える大変有意義な講習会となりました。事業管理者、院長を中心に全職員が知恵を出し合い検討が進んでいくことと思います。最後に樋口事業管理者から、地域住民の皆様を巻き込んだ病院づくりをこれからも続け、この地域に病院・看護学校を残していくことで、過疎化を最小限に抑え地域の活性化にもつなげていくことが必要である。そのためにも、全職員で協力して頑張りたい、また安心して業務に励んでいただきたいと締めくくられました。

総務課長 森 千壽

お知らせ

研修会・勉強会の行事予定表

3月8日(金)	糖尿病・心臓リハビリテーション合同教室 1.4月からの医事費について 医事課 江口 一 氏 2.糖尿病の医療費について 代謝内科 山城 武司 先生 3.動脈硬化について 循環器内科 脇田 富雄 先生	13:15～ 当院6階講堂
3月12日(火)	マザークラス お産の経過と呼吸法について	13:30～ 当院6階講堂
3月15日(金)	看護師勉強会	12:30～ 当院6階講堂
	講演会「私のカルテ」 熊本大学医学部産科婦人科学 教授 片渕秀隆 先生	17:30～ 当院6階講堂
3月22日(金)	がんサロン	13:30～ 当院6階講堂

医療施設の皆様の勉強会・研修会への参加をお待ちしています。

参加申し込み・内容等については『地域医療連携室：TEL0969-62-1547』までお問い合わせ下さい。

編集後記

○石ばしる垂水の上のさわらびの萌え出づる春になりけるかも (志貴皇子 万葉集より)

朝の水道水や外気に触れた感触で、寒さも緩み、春になったことを実感する。さまざまな草花も見られるようになった。先月は院内学会をはじめ、勉強の機会が多かったが、年度末となる今月も、自然の活力を受けながら過ごしていきたい。(福田)

○春の息吹をあちこちで感じるころとなりましたね。先日、外にでたら「ホ〜ホケキョ」、鳴き声の主を捜すと椿の木にウグイスが止っていました、春がそこまで来ていることを感じさせる光景でした。(森口る)

3月 診療案内

	月	火	水	木	金	休診日
内科 (代謝内科 消化器内科 呼吸器内科) 新患担当	樋口 坂本 和田	大村 和田 山城	坂本 大村 石田	樋口 和田 山城	坂本 山城 城臺	
	城臺	城臺	和田(～10時) 志摩(10時～)	石田	応援医師	
循環器内科	脇田	脇田	脇田	脇田	脇田	15日
	※ペースメーカー外来は(3、6、9、12月)に行います。					
小児科	田原	田原	田原	田原	田原	
外科・肛門外科 消化器外科	福田	城野	福田／蓮尾	城野	蓮尾	
整形外科	—	上原	—	胤末(午後)	—	28日
	※藤松医師 病気療養のため、3月の月・水・金は外来休診となります。 ※毎週木曜日(予約制)は午後2時から午後5時まで診察を行います。					
産婦人科	姫野	姫野	姫野	姫野	姫野	
耳鼻咽喉科	—	熊大	—	—	熊大	8日
眼科	竹下	竹下	—	竹下	竹下	
	※午後は、検査の予約外来です。ただし、月・水曜日は手術日です。					
皮膚科	—	—	—	尹	—	
泌尿器科	—	小川	—	—	—	
胃腸センター	蓮尾 城野 石田	福田 蓮尾	城野 和田 石田	坂本 福田 蓮尾	福田 城野 石田	
歯科・口腔外科	福田	福田	福田	福田	福田	
	※午後は、1時～4時30分まで受付けます。					

教良木診療所 応援	大村	坂本	樋口	応援	樋口
御所浦診療所 応援	山城 (第2・4午前)	— —	竹下(午前)	—	—
御所浦北診療所 応援	—	—	—	城臺(午後)	—

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分まで行います。

※眼科は、毎週水曜日は休診になります。

※歯科口腔外科は月～金の午後も診療を行います。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制です)

※内科は、火・木の午後5時～午後6時まで診療を行います。

※木曜日の内科山城医師の外来は午前と午後3時～午後6時まで診療を行います。